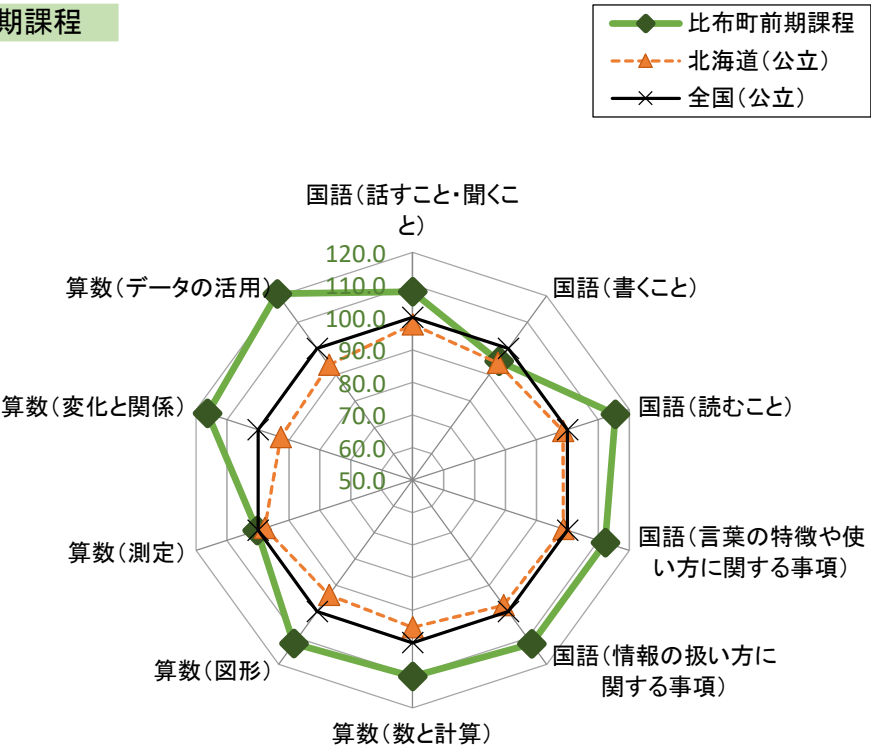


○ 教科に関する調査の状況

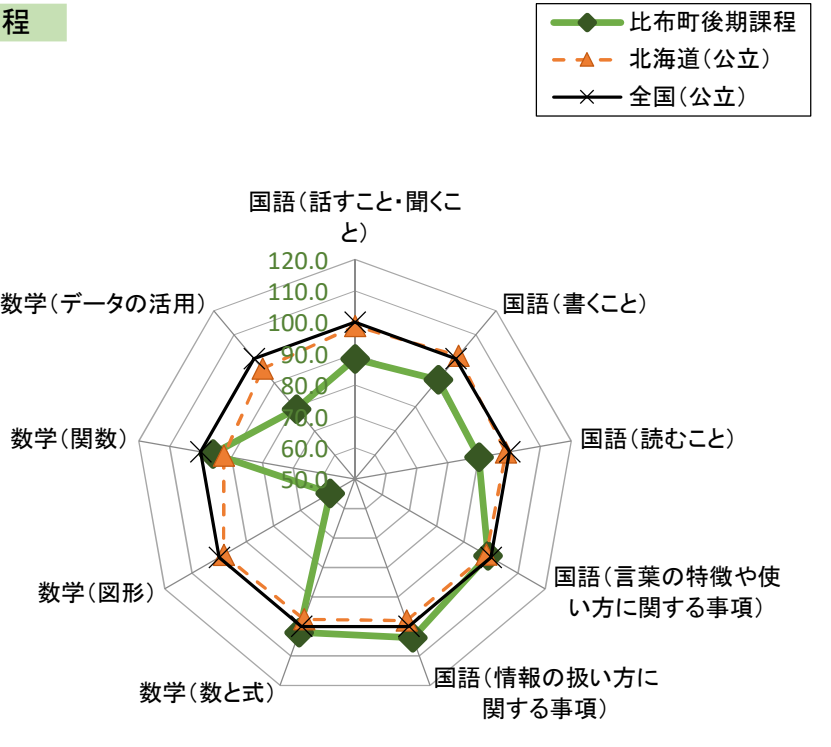
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・後期課程英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

前期課程



後期課程



【平均正答率・平均IRTスコア】

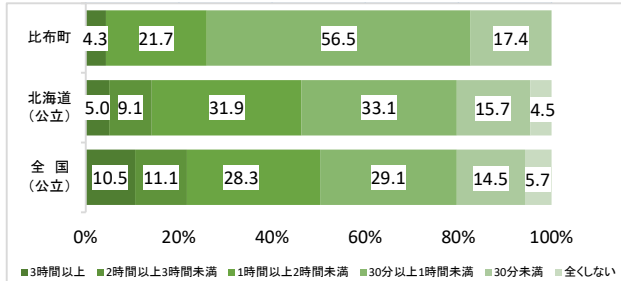
※後期課程英語は平均IRTスコア

|         | 前期課程 |      | 後期課程 |    |     |
|---------|------|------|------|----|-----|
|         | 国語   | 算数   | 国語   | 数学 | 英語  |
| 比布町     | 67   | 65   | 60   | 49 | 469 |
| 北海道(公立) | 60   | 54   | 63.0 | 55 | 489 |
| 全国(公立)  | 60.9 | 56.4 | 63.9 | 57 | 499 |

## ○ 質問調査の状況

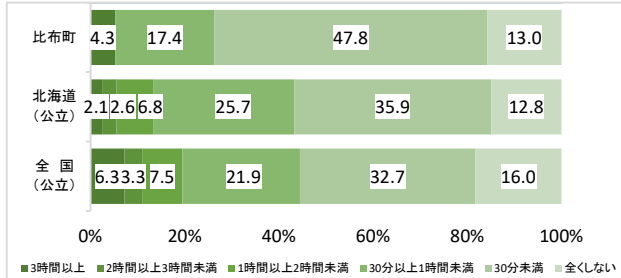
### 前期課程 ＜児童質問＞

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



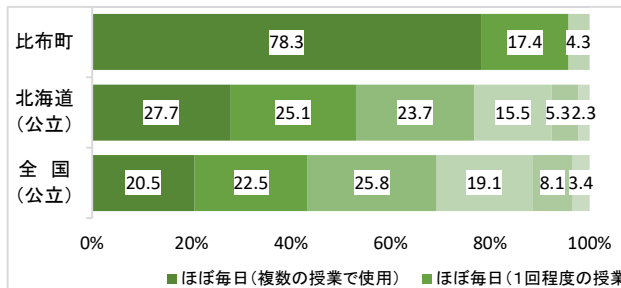
### 前期課程 ＜児童質問＞

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



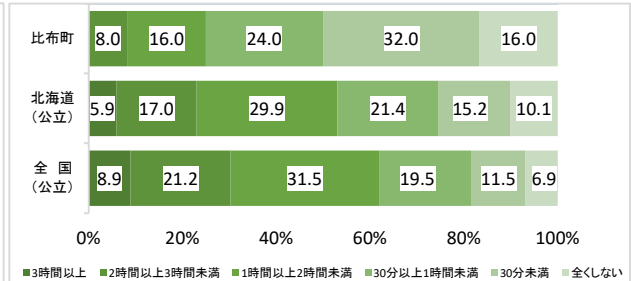
### 前期課程 ＜児童質問＞

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



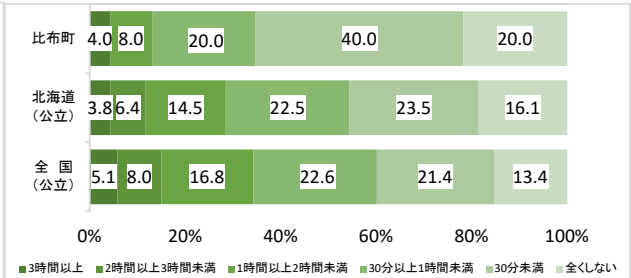
### 後期課程 ＜生徒質問＞

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



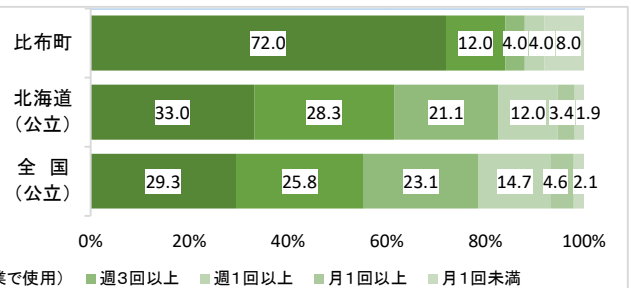
### 後期課程 ＜生徒質問＞

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



### 後期課程 ＜生徒質問＞

7、8年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



## ○ 調査結果の分析

### 【前期課程】

教科ごとの学力・学習状況調査の結果は国語、算数ともに平均正答率が全国・全道平均を上回り、特に算数では10ポイント近く上回る結果となった。

質問紙調査の状況からは、平日の家庭学習時間は30分以上1時間未満が最も多く56.5%であったが、全くしない児童は0名であることから、短時間でも日頃からの家庭学習が定着していることが分かる。なお、休日の家庭学習時間は30分以上1時間未満、30分未満が多くを占め、合わせて65.2%であったが、放課後の少年団やクラブ活動、地域活動への積極的な参加をする児童が多いことなども要因と思われ、平日と休日でメリハリのある生活ができていると考えられる。

また、5年生までに受けた授業でのICT機器の活用については、全国・全道平均を大きく上回り、ほぼ毎日複数の授業でICT機器を活用している状況である。前期課程の段階から将来を見据えたICT活用を積極的に行っており、今後学ぶ意味を理解し、意欲を高める教育課程への改善と授業改善により、ICT活用を基盤とした学力の一層の向上を図る。

### 【後期課程】

教科ごとの学力・学習状況調査の結果は国語、数学、英語ともに全国・全道平均を下回る結果となったが、全国・全道平均を上回る項目もあり、特に情報の扱い方に関する事項については、日常的なICT活用を含めた学習体制の効果ができていると見られる。

質問紙調査の状況からは、平日の家庭学習時間は30分以上1時間未満、30分未満が多くを占め、合わせて56.0%であり、また休日の家庭学習時間についても同様に、30分以上1時間未満、30分未満で60.0%となり、全道・全国平均よりも低い数値となった。近年は部活動等で全道大会、全国大会等に出場する生徒も多く、勉強時間を割いて取り組んでいる生徒も少なくないと考えられる。今後は、こうした目的をもって努力を続けることや、多様な他者と関わることで身に付く非認知能力の育成はもとより、これからの社会でより豊かに自分の夢や希望を実現できるよう、学ぶことの意味が分かる魅力ある教育課程への改善と不断の授業改善を確実に進め、主体的・対話的で深い学びの実装に努める必要がある。

なお、7、8年生のときに受けた授業でのICT機器の活用については全国・全道平均を大きく上回り、前期課程から引き続いて学力面だけでは見られないICT活用という学びの基盤が定着していると思われる。

### 【総評】

全国学力・学習状況調査の点数は、前期課程が全国・全道平均を大きく上回り、後期課程が少し下回る結果となった。より一層子どもが自ら課題を見付け、主体的に学びに向かう授業への改善を強く進めるとともに、前期課程で習慣化できている家庭学習を、後期課程においても自ら学ぶ意味と必要性を理解し、主体的に取り組めるよう支えていくことが重要と考えられる。一方、前期課程から後期課程まで学びの基盤としてのICT利活用が定着していることは比布町教育の大きな強みであり、義務教育学校ならではの強みを生かし、9年間の一貫した教育内容の充実と授業改善を進め、めざす資質・能力の育成に教育委員会と学校が一体となって取り組んでいくことが求められる。